

人事行政の運営状況（令和2年4月1日現在）

令和元年度の市の人事行政の運営状況を公表します。

これは、市職員の職員数、給与、勤務条件等の概要について、地方公務員法の規定に基づき、年に1度公表することを市の「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」で定めているもので、市民の皆さんに職員の任用や勤務条件などを理解していただくためのものです。【総務課】

■職員の任免及び職員数に関する状況

①新規採用者数の状況

区 分	事務職	消防職	業務員
令和2年度	9人	4人	—
令和元年度	14人	4人	—

②職員採用試験の実施状況（令和2年4月採用分）

職 種	応募者数	受験者数	採用者数
行 政 職	54人	47人	9人
消 防 職	21人	18人	4人

③退職者数の状況

年 度	定年	自己都合	勸奨	再任用満了	計
令和元年度	10人	1人	3人	2人	14人

④部門別職員数の状況（4月1日現在）

部 門	平成17年度	令和元年度	令和2年度
一般行政部門	365人	258人	263人
教 育 部 門	62人	29人	29人
消 防 部 門	75人	84人	84人
公 営 企 業 等	44人	31人	29人
計	546人	402人	405人

※ 平成17年度（合併直後）の職員数には、新治地方広域事務組合から平成18年2月に転入した分を含みます。

※ 再任用職員は職員数に含んでいません。

■職員の人事評価の状況

- 職員の主体的な職務遂行及び能力開発を促進し、効果的な人材育成を推進することを目的として、行政職は平成20年度から、消防職は平成22年度から「人事評価」を実施しています。
- また、勤務成績の給与への反映として、平成22年度の人事評価の結果から翌年度のボーナス（勤勉手当の成績率）に、平成29年度からは定期昇給に反映されています。

○人事評価の実施状況

対象者数	実施者数	未実施者数（育児休業、休職等）
419人	399人	20人

■職員の給与の状況

①給与等の状況（4月1日現在）

区 分		令和元年度	令和2年度
一 般 行政職	平均給料月額	320,500円	321,200円
	平均年齢	42.3歳	42.5歳
消防職	平均給料月額	301,400円	297,400円
	平均年齢	37.1歳	36.2歳

②初任給の状況（4月1日現在の規定）

区 分		令和元年度	令和2年度
一 般 行政職	大学卒	180,700円	182,200円
	高校卒	148,600円	150,600円
消防職	大学卒	206,900円	208,600円
	高校卒	167,700円	169,900円

③経験年数別給料月額（標準的なもの／4月1日現在）

区 分		年数	令和元年度	令和2年度
一 般 行政職	大学卒	10年	253,800円	255,000円
		15年	302,400円	302,400円
		20年	353,400円	353,400円
	高校卒	10年	214,700円	216,200円
		15年	253,800円	255,000円
		20年	289,000円	289,000円

※ 上記の額は、現在の昇給昇格基準に基づき作成しているため、採用時期により異なります。

④一般職員の期末・勤勉手当支給割合

区 分	6月期		12月期	
	期末	勤勉	期末	勤勉
令和元年度	1.3月	0.925月	1.3月	0.975月
平成30年度	1.225月	0.9月	1.375月	0.95月

⑤特別職等の報酬等の状況（実績）

区 分		平成30年度	令和元年度
給料 月額	市長	779,000円	779,000円
	副市長	592,000円	592,000円
	教育長	546,000円	546,000円
報酬 月額	議長	334,000円	334,000円
	副議長	285,000円	285,000円
	議員	269,000円	269,000円
期末 手当	6月期	1.675月	1.675月
	12月期	1.675月	1.725月

■職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

①標準的な勤務時間（4月1日現在）

区 分	令和元年度	令和2年度
正規の勤務時間 （1週間あたり）	38時間45分	38時間45分
開始・終了時刻	開始 8:30 終了 17:15	開始 8:30 終了 17:15
休憩時間	12:00~13:00	12:00~13:00

②年次有給休暇の状況（暦年）

区 分	平均付与日数	平均取得日数	平均取得率
令和元年	37.6日	10.5日	27.9%
平成30年	38.3日	10.6日	27.7%

※ 年次有給休暇は、1暦年あたり20日とし、20日以内残日数を繰越すことができます。

■職員の休業の状況

区 分	令和元年度新規承認者
育児休業取得者数	2人
育児部分休業取得者数	0人
介護休暇取得者数	0人

- ※ 育児休業とは、地方公務員の育児休業等に関する法律第2条に基づき、3歳に満たない子を養育する職員は、その子が満3歳に達する日まで育児休業をすることができる制度です。給与（給料及び諸手当）は、育児休業の期間中は支給されません。
- ※ 育児部分休業とは、子が小学校就学の始期に達するまで、正規の勤務時間の始め又は終わりにおいて、1日を通じて2時間を超えない範囲内で、職員の託児の態様、通勤の状況等から必要とされる時間について勤務しないことができる制度です。
- ※ 介護休暇とは、他に介護する者がいない疾病又は負傷その他の事由により常時介護を必要とする配偶者又は生計を一つにする親族を介護する場合、連続する6月の期間内において必要とする期間、勤務しないことが相当であると認められる場合に取得することができる制度です。給与（給料及び諸手当）は、介護休暇の期間中は支給されません。

■職員の分限及び懲戒処分の状況

区 分	分限処分				懲戒処分			
	免職	休職	降任	降給	免職	停職	減給	戒告
令和元年度	—	6件	—	—	—	—	—	1件

- ※ 休職の期間延長は含みません。
- ※ 分限処分とは、公務の能率の維持及びその適正な運営の確保の目的から、勤務成績がよくない場合等の一定の事由がある場合、地方公務員法第28条の規定に基づき、職員の意に反して降任、免職又は休職の処分をすることをいいます。
- ※ 懲戒処分とは、職員に職務上の義務違反や全体の奉仕者としてふさわしくない非行があった場合、地方公務員法第29条の規定に基づき、戒告、減給、停職又は免職の処分をすることをいいます。

■職員のサービスの状況

○職務に専念する義務の免除の状況（延べ人数）

事 由	令和元年度	主 な 内 容
研修を受ける場合	0人	職員対象に実施する講演会等への任意参加
厚生に関する計画	304人	人間ドックや検診の受診、互助会事業参加など
法律又は規則で定める場合	14人	団体交渉への参加又は公益団体事務や消防団員業務に従事する場合など

※ 一般職の職員には、地方公務員法などの規定により職務に専念する義務が課せられていますが、職員の福利などの合理的な理由がある場合に、法律や条例（市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例）に基づき、例外としてその義務が免除されるものです。

■職員の退職管理の状況

○ かすみがうら市職員の退職管理に関する規則により、離職後に営利企業等の地位に就いている元職員による現職職員への働きかけ（職務上の行為をするように、又はしないように、要求または依頼をすること）が規制されています。

区 分	件数
再就職者による依頼等	0件

■職員の研修の状況

①職員研修の状況

- 職員一人ひとりの資質と能力を向上させ、市民の信頼に応えていくため、「人材育成基本方針」などに基づき職員研修計画を定め、全職員に共通する課題や職員の階層や業務内容などに応じた研修を行いました。また、職員通信教育助成要綱の規定に基づき、自らの資質向上を目的として職員が受講する通信教育への助成を行っています。

令和元年度の主な研修		主催	修了者数
メンタルヘルス研修		かすみがうら市	31人
タイムマネジメント研修		かすみがうら市	30人
市民協働職員研修		かすみがうら市	47人
階層別研修	新規採用職員研修	かすみがうら市	19人
	確定申告相談研修	かすみがうら市	22人
	主事級職員研修	かすみがうら市	31人
	人事評価 評価者研修	かすみがうら市	37人
	人事評価 被評価者研修	かすみがうら市	48人
	新規採用職員課程	茨城県自治研修所	14人
	主事・主任級課程	茨城県自治研修所	7人
	新任係長課程	茨城県自治研修所	10人
管理職のためのリーダーシップ講座		市町村アカデミー	1人
生活保護と自立支援対策		市町村アカデミー	1人
選挙事務		市町村アカデミー	1人
開発許可専門		全国建設研修センター	1人
土木工事監督者		全国建設研修センター	1人
公共工事契約実務		全国建設研修センター	1人
クレーム対応能力向上講座		茨城県自治研修所	2人
業務マニュアル作成力向上講座		茨城県自治研修所	2人
女性職員キャリアデザイン講座		茨城県自治研修所	2人
法務マスター研修		茨城県自治研修所	1人
固定資産税における不服申立ての実務		日本経営協会	1人
監査委員事務局職員のための監査基礎		日本経営協会	1人
キャッシュ・フロー計算書入門		日本経営協会	1人
自治体監査の実務ポイント・ノウハウ修得セミナー		日本経営協会	1人

■職員の福祉及び利益の保護の状況

①職員の福利厚生制度の概要

- 心身ともに健康に職務を遂行できる快適な職場環境を構築していくため、市、共済組合、互助会において職員の健康管理、福利厚生等の事業を行っています。令和元年度に実施した主な事業は、次のとおりです。

事業	実施項目	利用者数	事業主体
ライフプラン確立の支援	退職予定者講習会	11人	市・共済組合
各種健康診断の実施	定期健康診断	152人	市
	人間ドック検診	229人	市・共済組合・互助会
	胃がん検診	1人	市・共済組合
	大腸がん検診	21人	市・共済組合
	前立腺がん検診	11人	市・共済組合
	子宮がん検診	6人	市・共済組合
	乳がん検診	5人	市・共済組合
	肺がん検診	17人	市・共済組合
	健康相談・指導	13人	市

(かすみがうら市職員互助会の概要)

- ・ 会員数 411人(令和2年4月1日現在)
一般職の職員のほかに、市長等の常勤特別職及び再任用職員が含まれます。
- ・ 会 費 月額800円/人
- ・ 内 訳 主な事業は次のとおりです。

(単位：千円)

項 目	内 容	令和元年度決算	令和2年度予算
		互助会 事業費	互助会 事業費
医療保健費	職員が使用する常備薬の設置	66	80
慶弔費	出産祝金、結婚祝金、傷病見舞金、弔慰金等の給付	1,198	2,200
退職記念品	退職時に花束を贈呈	39	60
クラブ助成事業	文化、体育クラブ活動費の一部を助成	357	420
旅行等助成事業	旅行等費用の一部助成	284	500
健康増進事業	人間ドック、食生活診断費用の一部助成	1,359	1,800

②公務災害の発生状況

- 市職員の公務災害補償制度は、公務上の災害(負傷、疾病、障害及び死亡)又は通勤による災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害の補填(補償)と、被災職員の社会復帰の促進及び職員や遺族の援護を図るために必要な事業を行うことを目的としています。
- 令和元年度に、2件が公務災害の認定となりました。

■公平委員会の業務の状況

- 市では、つくば市等とともに「つくば市等公平委員会」を共同設置しています。公平委員会では、職員の勤務条件等に関する措置要求及び不利益処分(分限処分、懲戒処分等)に対する不服申立てに関する審査を行っています。
- 令和元年度は、かすみがうら市職員から公平委員会への措置要求及び不服申し立てはありませんでした。